

## 特別休暇、取れてますか？

新型コロナウイルスが猛威を奮っています。すでに「第3次大戦」「世界恐慌以上」などという言葉で語られ、私たちはこれまで経験したことのない非常事態に置かれています。家計が逼迫し、家庭内での暴力（対配偶者、対子ども）、「コロナ離婚」などという言葉も飛び交い、身近なところでも副次的ながら直接的な問題が出ています。

そんな中で気になるのが職業柄（だけではありませんが）、やはり子どもたちのことです。子どもたちは今、学校が突然休校になったことでも、とても大きなストレスを抱えています。

私の家にも小5の息子がいますが、ここ2、3日、夕方になるとぐったりとして、元気も食欲もなく、顔が青ざめ、指先が微かに震え、話しかけると震えた涙声で返事をします。一瞬、コロナに感染したかと心配しましたが、一般的に言われているコロナの症状はなく、熱も平熱です。時間をかけて話を聞いてみると、コロナに感染する不安、子どもだけ（我が家は一人っ子）で家にいる不安、友だちに会えない不安、勉強できない不安など多くの不安を抱えていることがわかりました。また、十分に体を動かすことができないことも大きなストレスになっているようです。私の子どもは普段は明るく大らかなので、同じようなストレスにさらされている子どもたちは他にもたくさんいるのだらうと思います。

幸い、私たちにはこの状況に対処する一つの手立てとして、特別休暇を取って子どもの世話をすることが認められています。不安な子どもにとっては、親が近くにいるだけで気持ちが和らぎます。私も必要に応じ職務に大きな支障の出ない範囲で取得し、とても助かっています。

けれども、残念なことに、学校によってはこの特別休暇が十分に取れない状況があるようです。取れない一番ひどい理由は、校長がこの特別休暇の存在を周知しないことです。県教委からは昨年度、臨時休校が始まった時点で服務について通知があり、その中に特別休暇の項目もありました。これをあえて無視して伝えず、職員からの申し入れも県教委からの指導もスルーし、結局、県教委からの再度の指導と高教組の委員長、書記長の直接の面談と申し入れでようやく謝罪し、周知したという校長もいました。このようなことは絶対に起こってはならないことです。

みなさん、特別休暇はきちんと取れていますか？

特別休暇取得については先の事例以外にも「年休で代替できないか（昨年度、郵政でも同様のことがあり社会的に批判されました）」とか「祖父母に代わりに面倒みてもらえないか（これは最終手段です。祖父母の健康面等についての配慮は?）」と言われるなどで取得できなかった事例があります。また、特別休暇は1日単位でしか取れないという管理職もいるようです。1日単位では仕事に支障をきたし、取ることを躊躇せざるを得なくなります。これについては県通知と同時期に、高教組の方から時間単位で取れることを確認済みです。

管理職の立場に立てば、世間の目を気にするとか、職員を十分に信頼できないとか、その他諸々の事情で取らせたくない気持ちになることもわからなくはありません。けれども、特別休暇を取ることは必要なことであり、後ろめたいことでも、恥ずかしいことでも、申し訳ないことでもありません。休むことで「3密」の緩和にもつながります。むしろ、大きな視点に立った時、この未曾有の非常事態に対処し、人の命を救う一つの有効な方策とも考えられます。

必要であるなら遠慮せず特別休暇を取り、できる限り子どもたちや私たち自身のストレスや不安をなくしましょう。そして学校が再開された時「さあ学校がまた始まった。やっぱり学校はいいね。みんな楽しく勉強しましょう」と明るい笑顔で生徒たちを迎えようではありませんか。

今年度もよろしくお祈いします。皆様のご意見・情報をお寄せください。

高教組は教職員の労働条件改善のために頑張ります。ご支援・ご加入をお願いいたします。

**群馬県高等学校教職員組合**

(TEL:027-231-2784/FAX:027-231-2787)

ホームページはこちら

<http://www.ghu.org/>

